

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

第325号

2026(令和8)年10月
隔月発行

特集

港北区の魅力再発見 港北ボランティアガイドの会



港北ボランティアガイドの会の皆さん

- P.2 特集 港北ボランティアガイドの会
- P.3 連載「シリーズ わがまち港北」第242回 林 宏美 著
- P.4 区民活動支援センターからのお知らせ

普段何気なく暮らしているまちも、ゆっくり歩いてみると新たな発見や驚きに出会えるものです。今回ご紹介する「港北ボランティアガイドの会」は、長年港北区を中心に、歴史や文化、自然、景観などをテーマにしたまち歩きガイドツアーを企画・実施して、地域の魅力を参加者に伝えてきました。



4月から港北区内の見どころ再発見のお手伝いをしている皆さんの活動取材しました。

新たな発見と気づきを得て、地域の魅力をもっと知ってほしい。

転入した人にこそツアーに参加してほしい

「港北ボランティアガイドの会」は、2012年2月に区役所主催講座の受講生を中心に発足したボランティアグループです。来年(2027年)2月には設立15周年を迎えます。長年にわたり、区内や周辺地域でウォーキングガイドツアーを実施し、参加者に地域の魅力を伝え続けてきました。

今年4月からは、あらためて港北区を見直そうと「こうほく再発見シリーズ」を開催しています。より幅広い世代に参加してもらえるよう土曜日実施を取り入れるなど工夫を重ね、毎回多くの参加者でにぎわっています。特に港北区へ転入してきた人たちには、まち歩きを通して地域への愛着を深めてもらいたいと考えているそうです。



過去のツアーの写真

新人ガイドインタビュー

◎活動のきっかけと実際にやってみた感想は？

〇もともと歩くことが好きで、ガイド活動についてよく知らないまま養成講座に参加した。〇先輩ガイドと一緒に活動するのは楽しいが、自分でガイドをしてみると、丁寧な準備が必要なことを実感した。

◎ガイドをしていて楽しいことは？

〇コースの確認や説明資料づくりなどの準備は手間だが、その分知識が増えてワクワクする。〇咲いている草花を調べたり、話題にできそうなことを探したりするのも楽しい。〇毎回新しい発見があり、次に向けて工夫をすることが面白い。

これからの季節を楽しめるツアーがたくさん！

「こうほく再発見シリーズ」は、12月から後半が始まります。12月5日(土)の「日吉の裏道」、令和9年2月6日(土)の「新羽の寺社巡り」、2月27日(土)の「小机の寺社巡りと流域センター」など、港北区の多彩な魅力に触れられる内容です。このシリーズ以外にも、季節を楽しめるツアーを企画中。いずれも事前申込制です。



慶應義塾大学日吉
キャンパスの銀杏並木

運営メンバーと一緒にツアーを企画してほしい

現在運営メンバーは約30人。数年ごとにガイド養成講座を開催し、メンバーを増やしています。前回の講座からは6人が加入し、活動の輪が広がっています(下記インタビュー参照)。

興味がある方は、11月から開講予定のガイド養成講座に参加してみませんか。ガイドツアーを通じて、地域の魅力を一緒に探しましょう。



新人ガイドの皆さん

◎活動を続けている理由は？

〇先輩から「楽しむことが一番」と励まされ、前向きに続けている。〇参加者の方から教えてもらうことも多く、そこから会話が広がるのも楽しいから。

◎活動に興味のある人へのメッセージをどうぞ。

先輩に教わりながら、参加者に励まされながら、毎回楽しくガイドをしています。お勧めの点は、得意分野を生かし、自分のペースで楽しく活動できること。あなたもガイドボランティアを始めてみませんか！



篠原園地と旧神奈川県知事公舎

しのはらだいまち しのはらえんち こうしゃ ふぞく
篠原台町にある篠原園地は、旧神奈川県知事公舎に付属する園地で、昭和32年(1957年)から一般に公開され、以来、住宅地にある緑豊かな憩いの場として地域に親しまれてきました。しらはたいけこうえん りんせつ
篠原園地は白幡池公園に隣接しています。横浜市の公園である白幡池公園と、県が管理していた篠原園地との間に物理的な境界はありませんでしたが、管轄が異なっていたため、長年一つの公園としての統合・保全が望まれていました。このほどようやく協議がまとまったことから、篠原園地は令和7年(2025年)3月21日に横浜市へ移譲され、令和8年(2026年)4月30日から市の公園として、遊具広場とはらっぱ広場の供用が始まりました。現在も園地では整備工事が行われており、全面公開は来年度以降の予定です。

さて、旧神奈川県知事公舎は、昭和22年(1947年)4月にこうせん うちやまいわたろう
公選による最初の神奈川県知事となった内山岩太郎(1890～1971年)が、同年6月にこの地にあった旧石井健吾(第一銀行三代目頭取)邸の和館を公舎として購入したのが始まりです。その際、隣接の洋館も借り上げられ、迎賓館として使用されました。

外交官出身の内山知事は、外国人客を招待しても恥をかかない程度の公舎が欲しいと考えており、売りに出ている石井邸を一目で気に入り、購入に踏み切ったそうです。しかし、終戦間もない時期で経済的余裕のない時代でしたので、県議会からの反発もありました。内山は昭和22年6月24日の日記に「知事の官舎の問題はうるさかった。(中略)二百万県民の代表として日本の玄関大神奈川の知事の住み人を受ける場所を最善の所に求めた迄のことである。」(『横浜市史Ⅱ資料編3』1993年、横浜市)と記しています。

その後、同年9月1日には新しい知事公舎の披露を兼ねた茶会が開催されます。購入に反対した議員も出席していましたが、日記には「自分で来てみては誰もが善い買い物をしたと喜んで居る」と記されています。

内山はこの公舎がとても気に入っていたようで、公舎は公私にわたって活用されました。『残照 神奈川の近代建築』(朝日新聞横浜支局編、1982年、有隣堂)によれば「予算査定も、応接間にいすと机を並べて行った。庭園でガーデンパーティーもしばしば催した。」とあり、内山の日記にも公舎でカクテルパーティー

やガーデンパーティーを開いた旨が記されています。昭和27年(1952年)4月8日の日記には、カクテルパーティーに出席した村上義一運輸大臣が「神奈川の知事にふさわしい家を持たれていますね素晴らしい場所ですねと頻に讚美」したとあります。

この公舎には、内山と親交のあった芦田均(第47代内閣総理大臣)もたびたび訪れました。内山と芦田はともに外交官出身で家族ぐるみの交遊がありました。二人は相当な将棋好きで、お互いの家を行き来して将棋をさすこともあれば、旅行先や移動の車中でも将棋をさすほどでした。芦田の首相在任中の昭和23年(1948年)9月19日の日記には「(前略)三時出発。神奈川[県]知事官舎を訪ねて内山君と将棋をさした。此処でもアンマをとる。夕食後又将棋をさして十時十分前に白金の官邸に帰った。(以下略)」とあり、芦田と内山の親しさ、知事公舎が芦田にとっても気兼ねなく過ごせる場所であったことが窺えます。昭和30年(1955年)6月7日に知事公舎で行われた内山の次男の結婚披露に出席した際の日記には、「この公舎は眺望もよし建物も相当である。」との記載も見られます。

内山岩太郎は、昭和29年(1954年)1月1日の『横浜港北新報』に、次の言葉を寄せています。

しのはらちよう
私も港北区民である。公舎が篠原町にあり、私の“楽しいわが家”はこゝにあるからだ。いそがしい日々、綿の如く疲れた身体をやさしくねぎらってくれ健康で精励させてくれるのも、このオアシスの憩いによるわけである。たしかに港北はそういう意味でいいところだと思う。(以下略)

内山は神奈川県知事を5期20年務め、昭和42年(1967年)4月に退任します。公舎を出た後は日吉本町の自宅に戻り、亡くなるまで港北区民として暮らしました。

内山にとっては「楽しいわが家」だった旧知事公舎でしたが、生活するには不便な面もあり、以後の知事にはほとんど使用されませんでした。跡地はその後民間の手に渡り、現在はマンションが建っています。一方、篠原園地は横浜市の公園として新たな一歩を踏み出しました。これからも住宅地の中のオアシスとして、地域のみなさんに親しまれていくことでしょう。整備を終え、全面公開される日が楽しみです。

記：林宏美(公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

区民活動支援センターからのお知らせ

秋にワクワクする講座が盛りだくさん！

講座情報の詳細・申込はこちら ➡

今号で紹介するイベント **参加費無料**

港北区 講座イベント情報

検索



つながるカフェ 第1回 元気で活発な団体の共通点学ぶ

地域活動団体・グループ向けのスキルアップ講座&交流会を開催します。

日時:10月29日(木) 14:00~16:30

定員:30人(多数の場合は抽選)

会場:港北区役所4階会議室

応募締切:10月20日(火)

講師:

フリーペーパーえがお

編集長 本間 克之氏



港北地域学講座 第3回 遊びでつながる！障がい児と地域

障がいのある子どもたちと交流しながら、地域でできる関わりやボランティアについて一緒に考えてみませんか。

日時:11月8日(日) 10:00~12:00

定員:30人(多数の場合は抽選)

会場:横浜ラポール(港北区鳥山町1752) 応募締切:10月28日(水)

※JR、市営地下鉄及び相鉄・東急新横浜線「新横浜駅」下車 徒歩10分

緑と花の楽しみづくりワークショップ2026

第2回 花壇ツアーと初めての寄せ植え体験



大倉山公園愛護会の案内で花壇を巡り、秋の花の寄せ植え作りを楽しみます。

日時:10月30日(金)
14:00~16:00

定員:20組(1人での参加も可、
1組1作品、多数の場合は抽選)

参加費:1組 500円

会場:大倉山公園、大倉山記念館

(港北区大倉山2-10-1)

応募締切:10月19日(月)

第3回 葛や木の実を使ったリース作り

獅子ヶ谷市民の森で採れた森の恵みを使って、殿山の森を守り隊の皆さんと一緒にクリスマスリースを作ってみませんか。



日時:11月28日(土)
10:00~11:30

定員:30人(多数の場合は抽選)

会場:師岡コミュニティハウス

(港北区師岡町700 トレッサ横浜南棟3階)

応募締切:11月18日(水)

日吉の本だな交流イベント

本の世界が広がる！ 共読の面白さ



テーマ
みかん

「みかん」から連想した1冊を持ち寄り、おすすめの理由や魅力を語り合います。(本のジャンルは問いません)

日時:12月3日(木) 60分入替制

①14:00~ ②15:15~

※2回とも同じ内容

定員:各回 6人(多数の場合は抽選)

会場:日吉の本だな

(慶應義塾大学協生館1階:日吉4-1-1)

応募締切:11月23日(祝・月)

「秋のヨコアリくんまつり」 「2026ふるさと港北 ふれあいまつり」合同開催

港北区「まちの先生」の活動を紹介するブースを出展します。お子さんから大人まで大歓迎！ぜひお気軽にお立ち寄りください。

日時:
11月23日(祝・月)
10:00~15:00
会場:
横浜アリーナ2階
(港北区新横浜3-10)



©港北区ミズキ

★ 游学スポット(港区内・周辺のイベント情報)

港北区周辺の団体から寄せられたイベント情報は、右の二次元コードからチェック！

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

港北区区民活動支援センター

TEL&FAX 540-2246 Eメール ko-center@city.yokohama.lg.jp

開館時間 月~金曜 8時45分~17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)



検索



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

公式マスコットキャラクター トウクントウク

©Expo 2027